

ようか。この地下の部屋で、二人で大事に大事に育てるんだ。なあ？素敵じゃないか？」

「ひいいい…ッ！♡♡ああ…ッ！♡あああああ……ッッ！！♡♡♡」

脚の付け根が小刻みに痙攣し、白目を剥きながら絶頂する。

びゅるる——ッ

熱い白蜜をみずからの胸に散らす間も、男の律動は止まらない。

「だ…っだめえ…！♡イっ…♡、ああ…ッ♡♡も…イった…から…ア”♡♡♡、ああ  
ッ♡♡あッ♡♡ん”ら…ッッ！！♡♡♡」

絶頂にキュンキュンと引き絞られる孔内を、変わらぬ速さで男が通過する。

「ひいいいッんッ！♡♡♡」

その灼<sup>や</sup>けつくような抜き挿しに、媚壁に淫楽を刻みつけられているような気分になる。

「だめ…ッ！♡♡も…アあ…っ！♡♡♡奥……はいらな…ッんら”ッ！♡♡♡♡  
ん”らひいいいッ！♡♡こわれる…っ♡こわれうう……っ！！♡♡♡♡」